

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 26日

事業所名 児童発達支援センター パステル

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	7	3	・活動に応じて、部屋を分けている。 ・発熱等、個別のスペースを設け、対応。	・利用人数増に伴い、移転計画を実行している。
	2 職員の配置数は適切である	10	2	0	・配置基準に応じて対応している。	・利用家族ニーズにより、言語聴覚士を配置した。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	3	0	・車いすの児童も問題なく活動できるようにになっていると思う。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	8	3	1	・週に1回程度、管理者、主任、児発管でミーティングを持っている。	・PDCAサイクルの活用はしていないので、今後検討していく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	1	0	・ニーズ調査を行い、家族と面談の機会を設定し、業務改善に繋げている。	・前回の評価表を元に改善している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	1	0		・ホームページにて結果を公表している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	3	1	・苦情報告に関しては第三者委員会を設置。	・外部評価は行っていないので、今後検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	9	0	・必要に応じて、研修会へ参加。	・人材育成を図る為、今後も研修会の参加を行っていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	0	・保護者と連携を取りながら作成している。	・OT・STの専門的なアセスメントを行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	4	1	・活用し、アセスメントを行っていく。 ・発達アセスメントを活用している。	・OT・STの専門的なアセスメントを行っている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	3	1	・主任を中心に活動プログラムを作成している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	2	0	・他専門職と話し合いながら、プログラム曜日を決めて行っている。	・子どもたちにも分かりやすいよう、月のスケジュール作成を行っていく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	6	0	・計画表に沿って活動の実施を行っている。	・平日と長期休暇では大差無く、支援を行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	0	・家族と連携を取りながら、作成している。	・個別の対応が主になっているが、今後は、外部との交流会を検討していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1	1	・朝礼やスタッフ間で利用者の申し送りなど共有している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	5	0	・必要に応じて、実施。	・振り返りなどの情報共有の場を増やしていく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	2	0	・空いている時間帯や、送迎終了時に日々の記録は徹底している。	・日々の記録(健康状態)などは、徹底されているが、個別支援計画書との整合性が不十分である為、再確認を行っていく。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	1	0	・児発管や専門職が、モニタリングに参加し、後日、報告し共有している。	今後も、児発管、必要に応じて専門職のモニタリングの参加をしていく。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	3	1	・専門職を交え、様々な取り組みを行っている。	・ガイドラインを組み合わせた支援を行っていく。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	1	0	・児童発達支援管理責任者や、専門職が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	1	0	・連絡帳や、送迎時に共有を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	4	0	・医療的ケアの内容によって、指示書をもとにケアの提供を行っている。	・現在は、主に家族との連絡を行っているが、主治医との連絡体制も整えている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	4	0	・関係者会議で、利用の様子や、配慮事項など確認を行っている。	・現在そのような対象者はいないが、今後、必要に応じて行っていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	2	1	・前年度は、同一建物内の大人のサービスに移行していたので、細かな情報提供を行っていた。	・今後も必要に応じて、情報提供を行っていく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	4	2	・研修に参加している。	・助言等は受けていないので、今後、必要に応じて行っていく。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	7	・今年度は、感染症予防の為、外部との交流は控えている。	・状況が落ち着いて、計画を実施予定。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	3	3	・医療的ケア児の自立支援協議会に参加している。	・今年度より、自立支援協議会の構成員として参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	1	0	・児の送迎時や連絡帳で保護者との連携を図っている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	3	3	・次年度より市と連携を図り、実施していく予定。	自立支援協議会で評価を受けながら、実施に向けて進めて行く。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	1	0	・利用契約時に行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	2	0	・スタッフで連携しながら行っている。	・相談に応じ、必要な知識、スキルの獲得や関係機関との連携を図る。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	6	・今年度は、感染症予防の為、外部との交流は控えている。	・次年度より、保護者の交流の場を提供出来るように行っていく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	0	・迅速に対応するよう心掛けている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	0	・月1回、会報発行し、保護者へ配布している。	
	35 個人情報に十分注意している	12	0	0	・職員間で周知、徹底を行っている。	・引き続き、徹底を行っていく。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	2	0	・イラスト・写真での提示や、文書に残したり、具体的に説明を行っている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	8	・買い物学習などで、近隣店との交流を行っている。	・今後、検討をしていく。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	2	2	・法人全体でマニュアルに基づいて取り組んでいる。	・防犯マニュアルを作成していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	2	0	・消防計画書に基づいて実施。	・年に2回、避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	5	4	・朝のミーティング等で確認をしている。	・次年度、取り組みを行う予定。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	2	2		・現在、そのような児童はいないが、今後は検討していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	2	0	・医師の指示書の元、委託業者を情報共有を行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	1	0	・報告書を作成し、迅速な対応を心掛けている。	・事例集を作成し、今後共有を図っていく。